

【テピアマンスリー 今月の話題】2025 年 9 月号

【ASEAN】ASEAN 地域の大学の現状—QS 世界大学ランキングを参考に

経済の伸長著しい ASEAN 地域では、かつての中国がそうであったように、大学の教育力や科学技術力も向上している趨勢にあるが、本稿ではその現状について QS 世界大学ランキングを参考に、ASEAN 地域各国の大学の現状を簡単に紹介する。同大学ランキングだけで各大学の実力の全てを測れるものではないが、一つの指標として参考としていく。

2025 年 6 月に英国の高等教育評価機関クアクアレリ・シモンズ（QS：Quacquarelli Symonds）が発表した、「世界大学ランキング 2026」における ASEAN 地域の大学の順位について、以下の表にまとめた。なお本表では 1000 位以内の大学を対象とする。

表 QS 世界大学ランキング 2026 における ASEAN 地域の大学の順位

2026年 順位	2025年 順位	大学名	国	学術関係者からの 評価		雇用者からの 評価		学生1人当たりの 教員比率		教員1人当たりの 論文被引用数		外国人教員 の比率		留学生の比率	
				点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位
8	8	シンガポール国立大学	シンガポール	99.9	14	98.2	32	71.5	216	95.9	64	100.0	37	96.9	101
12	15	南洋理工大學	シンガポール	97.1	42	91.4	67	83.9	148	94.6	76	100.0	43	93.1	145
189	206	インドネシア大学	インドネシア	69.9	135	89.3	76	68.8	240	3.9	801+	86.6	249	10.9	801+
221	229	チュラロンコン大学	タイ	82.0	89	52.7	233	44.8	439	12.5	801+	32.0	564	6.2	801+
224	239	ガジャ・マダ大学	インドネシア	70.2	134	84.7	93	65.4	265	3.0	801+	63.0	370	8.9	801+
251	269	ペトロナス工科大学	マレーシア	29.7	415	41.0	332	44.6	442	95.0	70	87.0	245	29.5	596
253	251	テイラーズ大学	マレーシア	40.2	298	85.2	92	69.7	233	21.0	696	73.0	324	100.0	34
255	256	バンドン工科大学	インドネシア	58.5	181	85.3	90	54.7	345	5.4	801+	94.7	182	8.0	801+
269	265	UCSI大学	マレーシア	40.7	293	70.4	145	87.7	113	8.6	801+	92.9	201	99.0	69
287	308	アイルランガ大学	インドネシア	52.2	213	88.3	78	69.6	235	2.5	801+	77.3	308	10.8	801+
358	368	マヒドゥン大学	タイ	59.4	177	38.8	358	82.4	155	9.0	801+	8.5	801+	9.1	801+
362	336	フィリピン大学	フィリピン	50.6	220	71.1	143	42.7	467	3.2	801+	2.4	801+	1.2	801+
367	385	ブルネイ・ダルサラーム大学	ブルネイ	29.9	406	20.5	643	94.2	82	22.5	679	100.0	70	43.5	463
399	426	ボゴール農科大学	インドネシア	35.1	342	56.0	213	82.9	153	3.0	801+	73.7	323	6.0	801+
410	539	サンウェイ大学	マレーシア	20.9	592	53.3	228	56.9	324	25.2	636	57.1	405	66.9	298
482	495	デュイタン大学	ベトナム	13.7	701+	27.7	500	6.3	801+	76.0	172	43.4	475	2.1	801+
491	554	ウタラマレーシア大学	マレーシア	31.2	393	39.2	349	48.0	404	12.7	801+	25.6	638	86.9	186
509	585	スラバヤ工科大学	インドネシア	27.4	456	60.2	192	62.1	287	2.7	801+	69.6	337	11.9	801+
509	516	インティインターナショナル大学	マレーシア	14.3	701+	37.8	368	95.1	73	3.0	801+	100.0	39	99.7	50
511	516	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	32.2	385	70.0	148	33.1	586	3.0	801+	3.6	801+	4.3	801+
511	585	シンガポール・マネージメント大学	シンガポール	19.4	635	27.4	502	14.2	801+	30.9	577	100.0	48	83.2	203
515	596	パジャジャラン大学	インドネシア	29.9	408	51.7	237	55.9	334	2.2	801+	54.3	417	4.4	801+
519	440	シンガポール工科大学	シンガポール	11.0	701+	11.3	701+	99.3	41	71.0	208				
526	567	チェンマイ大学	タイ	48.8	236	30.4	467	22.0	790	8.8	801+	5.5	801+	8.7	801+
542	587	マラ工科大学	マレーシア	44.5	267	48.8	265	26.3	709	5.6	801+	2.5	801+	3.4	801+
551	641-650	テナガナショナル大学	マレーシア	9.5	701+	19.9	660	76.6	187	34.1	535	34.7	537	70.5	274
551	596	タンマサート大学	タイ	36.7	329	38.3	365	27.2	694	3.9	801+	15.9	779	2.2	801+
578	562	ブルネイ工科大学	ブルネイ	20.2	609	13.1	701+	86.5	123	22.7	673	100.0	62	7.7	801+
597	611-620	アジアパシフィック大学	マレーシア	17.3	701+	23.7	565	74.2	204	2.9	801+	95.6	169	100.0	16
597	580	マネジementサイエンス大学	マレーシア	25.1	509	20.9	629	55.3	340	3.2	801+	99.6	107	100.0	23
609	741-750	マレーシアバハラン大学	マレーシア	17.2	701+	9.9	701+	23.6	760	57.9	300	32.1	561	19.0	746
613	661-670	マレーシア国際イスラム大学	マレーシア	36.0	337	27.3	503	17.9	801+	6.2	801+	29.1	592	69.0	282
624	721-730	ディボネゴロ大学	インドネシア	30.0	405	53.2	229	30.5	622	2.3	801+	46.4	461	7.1	801+
638		リンカン大学	マレーシア	11.1	701+	26.0	521	95.6	69	1.8	801+	100.0	75	100.0	26
654	641-650	デラサール大学	フィリピン	32.7	374	58.6	197	9.6	801+	6.8	801+	2.8	801+	3.5	801+
680	801-850	ブラウイジャヤ大学	インドネシア	30.1	404	55.3	218	20.4	801+	1.9	801+	35.9	531	2.7	801+
684	711-720	トンデックタン大学	ベトナム	6.1	701+	13.3	701+	8.6	801+	74.8	180	7.7	801+	2.0	801+

(次ページに続く)

(続き)

2026年 順位	2025年 順位	大学名	国	留学生の 多様性		国際研究 ネットワーク		雇用の成果		サステナ ビリティ		全体 点数
				点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	
8	8	シンガポール国立大学	シンガポール	72.1	253	92.4	140	100.0	9	90.0	63=	95.9
12	15	南洋理工工学	シンガポール	93.6	121	86.9	217	87.7	121	87.2	88	93.7
189	206	インドネシア大学	インドネシア	16.3	801+	59.6	701	87.2	124	60.9	486=	57.0
221	229	チュラロンコン大学	タイ	11.0	801+	80.6	342	96.4	64	80.0	169=	53.9
224	239	ガジャ・マダ大学	インドネシア	14.6	801+	46.3	801+	75.9	177	66.0	381=	53.5
251	269	ペトロナス工科大学	マレーシア	30.7	608	72.1	498	5.2	801+	50.0	704	50.2
253	251	テイラーズ大学	マレーシア	100.0	25	53.5	789	5.2	801+	57.8	546=	50.0
255	256	バンドン工科大学	インドネシア	13.7	801+	39.8	801+	68.6	224	59.2	516=	49.9
269	265	UCSI大学	マレーシア	98.9	64	50.0	801+	13.3	801+	61.6	466	48.5
287	308	アイルランガ大学	インドネシア	16.7	801+	52.9	797	24.0	658	56.6	568=	46.8
358	368	マヒドン大学	タイ	14.0	801+	67.9	569	17.4	774	61.2	474=	41.1
362	336	フィリピン大学	フィリピン	5.7	801+	66.4	600	80.8	155	68.9	331=	40.9
367	385	ブルネイ・ダルサラーム大学	ブルネイ	42.1	492	53.0	796	58.2	283	52.4	655	40.5
399	426	ボゴール農科大学	インドネシア	10.8	801+	26.2	801+	45.3	386	63.2	436=	37.6
410	539	サンウェイ大学	マレーシア	68.7	279	61.4	671	5.1	801+	61.2	474=	36.7
482	495	デュイタン大学	ベトナム	6.3	801+	87.7	206	6.4	801+	58.7	528=	33.0
491	554	ウタラマレーシア大学	マレーシア	84.0	177	42.4	801+	16.4	799	49.5	715=	32.6
509	585	スラバヤ工科大学	インドネシア	17.9	800	27.6	801+	17.0	782	52.5	654	31.9
509	516	インティンターナショナル大学	マレーシア	99.5	46	19.2	801+	5.2	801+	33.2	801+	31.9
511	516	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	8.5	801+	24.3	801+	80.4	157	60.5	497=	31.6
511	585	シンガポール・マネージメント大学	シンガポール	80.4	205	23.0	801+	38.1	455	58.9	521=	31.6
515	596	バジャジャラン大学	インドネシア	9.4	801+	31.8	801+	45.4	384	59.7	507=	31.5
519	440	シンガポール工科大学	シンガポール			35.2	801+	5.3	801+	25.0	801+	31.3
526	567	チェンマイ大学	タイ	13.3	801+	65.8	613	28.7	584	67.6	355=	30.9
542	587	マラ工科大学	マレーシア	7.7	801+	74.3	458	4.9	801+	55.4	593=	30.3
551	641-650	テナガナショナル大学	マレーシア	65.6	299	55.7	754	5.3	801+	48.7	737=	29.9
551	596	タンマサート大学	タイ	6.9	801+	45.7	801+	90.6	100	60.7	494=	29.9
578	562	ブルネイ工科大学	ブルネイ	11.5	801+	20.7	801+	16.6	794	34.7	801+	29.0
597	611-620	アジアパシフィック大学	マレーシア	100.0	10	14.1	801+	5.3	801+	39.0	801+	28.3
597	580	マネジメントサイエンス大学	マレーシア	99.7	40	10.8	801+	5.3	801+	36.8	801+	28.3
609	741-750	マレーシアバハム大学	マレーシア	21.1	747	61.6	668	5.2	801+	51.4	675=	27.9
613	661-670	マレーシア国際イスラム大学	マレーシア	51.4	401	58.6	712	32.3	523	32.0	801+	27.8
624	721-730	ディボネゴロ大学	インドネシア	12.0	801+	35.5	801+	24.2	655	51.0	680=	27.5
638		リンカーン大学	マレーシア	99.2	55	5.2	801+	5.3	801+	12.5	801+	27.1
654	641-650	デラサール大学	フィリピン	7.8	801+	27.3	801+	60.7	266	44.1	801+	26.6
680	801-850	ブラウィジャヤ大学	インドネシア	6.9	801+	27.3	801+	29.1	567	53.3	636=	25.9
684	711-720	トンデックタン大学	ベトナム	6.3	801+	88.1	200	6.8	801+	43.9	801+	25.8

出典：QS TOP Universities “QS World University Rankings 2026: Top global universities”

※ミャンマー、ラオス、カンボジアの大学は対象外

ASEAN 地域の大学の中で QS 大学ランキング 2026 の最高位となったのは、シンガポール国立大学（総合 8 位）、次に南洋理工工学（総合 12 位）であったが、シンガポールは 1990 年代後半には一人当たりの GDP などの経済指標で先進国に匹敵するレベルに達しており、各大学ランキングでも長年上位をキープしている。

インドネシアの大学で最高位（総合 189 位）となったインドネシア大学は、オランダ植民地時代の 1851 年に設立された。元々医療従事者の育成を目的として設立されたこともあり、伝統的に医学部が高い評価を得ている。QS 世界大学ランキングでは、「雇用者からの評価（卒業生の評価）」（76 位）で特に高いポイントを獲得している。

タイで最も早くから設立（1917 年）された名門チュラロンコン大学は総合 221 位で、QS 世界大学ランキングでは特に「学術関係者からの評価」（89 位）と「雇用の成果」（64 位）

の点で高位に位置づけられている。また協定校等で日本の大学との交流も盛んである。

総合 251 位のペトロナス工科大学は、ペトロナス社（マレーシアの国営石油会社）単独出資により設立されたペラ州バンダスリスカンダルの私立大学であり、同社をはじめとしたマレーシア産業界との共同研究が盛んにおこなわれている。QS 世界大学ランキングでは、「教員 1 人当たりの論文被引用数」で 70 位となっており、教員の研究力の高さが窺い知れる。

フィリピンの大学の最高位は、フィリピン大学（総合 362 位）となっている。「雇用者からの評価」（143 位）・「雇用の成果」（155 位）で高位に位置している。同大学はフィリピン国内に 15 のキャンパスを擁する総合大学で、中でも本部のあるディリマン校は、学部および大学院の学位プログラムが最多となっている。

ブルネイの最高学府、ブルネイ・ダルサラーム大学は総合 367 位であった。「学生 1 人当たりの教員比率」が 82 位、「外国人教員の比率」が 70 位となっており、ブルネイ国内では質の高い教育が期待されている名門大学である。ブルネイという国のお国柄を反映するように、植物薬研究、ハラル製品研究、イスラム統治研究を重点分野とし、またブルネイの一大産業であるエネルギーの研究にも力を入れている。

ベトナム最大の私立大学、デュイタン大学は総合 482 位であった。同大学はベトナム中部に位置する第 3 の都市と称されるダナン市に 1994 年に設立され、2015 年に私立大学へと移行した。特に情報技術、電気・電子分野に強みを持つ大学である。

中国への一極集中を回避すべく「チャイナプラスワン」の候補地として ASEAN 地域が注目され、日本の企業はビジネスにおける ASEAN 進出を加速させるようになり久しいが、昨今では日本の大学も ASEAN の大学との協力・連携を深める傾向にあり、今後の同地域の大学の動向や研究レベルの向上を注視していく必要性が高まっていくことが予想される。

（石川 晶）

参考：QS World University Rankings 2026: Top global universities

<https://www.topuniversities.com/world-university-rankings>

※各大学の情報については大学 HP をそれぞれ参考とした。

【中国】【輸出】「デュアルユース品目の輸出許可管理弁法」改正草案を公表

中国商務部は 2025 年 9 月 16 日付で「デュアルユース品目の輸出許可管理弁法」の改正草案を公表するとともに 2025 年 10 月 16 日までパブリックコメントの募集受付を開始した。デュアルユース品目とは、民生用と軍事用の両方の用途に使用できる機能を有する物品、技術、サービスなどを指す。

同品目の輸出許可管理弁法は国の安全と利益を保護し、大量破壊兵器の不拡散に関する国際義務を履行するためにデュアルユースに該当する品目の輸出許可の管理を標準化することを目的とする。現行の「デュアルユース品目の輸出許可管理弁法」は 2005 年から施行されている。

今回の改正意見募集稿では、輸出業者の登録制度の廃止、ライセンス形態の改正、「デュアルユース品目の輸出入許可管理目録」の改編、行政罰則の明確化及び強化、デュアルユース品目の輸出管理にかかる企業等の法的責任の厳格化などが含まれる。製造拠点を中国国内にもつ日系企業の輸出業務に影響が出る可能性が懸念される。

(出所)《两用物項出口许可证管理办法(修订草案)》公开征求意见的通知 商务部

https://xkzj.mofcom.gov.cn/tzgg/art/2025/art_d5ac3eacdbbe4744b75ef2ceae8f0f1f.html

【中国】【国家標準】「電器電子製品有害物質使用制限要求」公布

国家標準化管理委員会は 2025 年 8 月 1 日付、強制性国家標準 GB 26572-2025「電器電子製品における有害物質の使用制限の要件」を正式に公布した。現行の推奨性国家標準 GB/T 26572-2011 に代替する。

同標準は電器電子製品に含まれる人の健康や環境に有害なリスクを及ぼす 10 種類の化学物質を規制する。鉛、水銀、カドミウム、六価クロムなどの重金属 4 元素とポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、フタル酸 4 種を含む 6 種類の残留性有機汚染物質が含まれ、各有害物質の含有量に対する必須要件が定められる。同強制性標準は 2027 年 8 月 1 日より正式に施行されるが、施行日より以前に生産または輸入された製品については 1 年間の猶予期間が与えられ当該在庫は 2028 年 7 月 31 日まで販売することが認められる。

同強制性標準の導入により中国市場の製品を流通させる電器電子製品メーカー及び部品サプライヤーが有害物質の削減と代替を強化し、グリーン製品のサプライチェーンを構築し、

有害物質の管理と制御のレベルを向上させて消費者の健康と環境リスク管理の保護を促進することが期待される。

（出所）我国发布首个电器电子产品有害物质管控强制性国标 中国政府网

https://www.gov.cn/lianbo/bumen/202508/content_7037537.htm

【中国】【エネルギー】新型エネルギー貯蔵大規模化建設特別行動方案を公表

2025年9月12日、国家發展改革委員会と国家エネルギー局は共同で「新型エネルギー貯蔵大規模化建設特別行動方案（2025—2027年）」（以下「方案」と略す。）を発表した。本方案は、今後3年間にわたり新型エネルギー貯蔵の大規模化と市場化を加速させ、エネルギーのグリーン転換を力強く支えることを目的としている。

「方案」が掲げる総体目標は、2027年までに新型エネルギー貯蔵の大規模かつ市場化された発展を基本的にも実現することだ。技術革新力や設備製造能力について世界トップレベルを維持するとともに、市場メカニズムやビジネスモデル、標準化システムを成熟させる。そして、新型電力システムに対応できる多様なエネルギー貯蔵システムの基礎を構築し、全体を統括しながら多様性が補完し合い、高効率で運営される体制を整えることを目指している。

具体的には、2027年までに全国の新型エネルギー貯蔵設備容量を180GW以上とし、約2,500億人民元（約5.3兆円）の直接投資を促す。国家エネルギー局によると、2024年末時点で新型蓄電設備容量は73.8GWに達し、2025年上半期には95GWに拡大した。目標を達成するには、2025年下半年から2027年までにさらに85GWを増設する必要がある。

技術面では、コスト低減効果が大きいリチウム電池を中心とする方針を打ち出している。第14次五カ年計画の期間中、とりわけリチウム電池のコスト削減が顕著であり、今後の大規模建設でも主流を占める可能性が高い。ただし、用途の多様性を踏まえれば、圧縮空気蓄電、レドックスフロー電池、ナトリウムイオン電池、フライホイール、重力蓄電、熱蓄電、水素蓄電といった技術にも大きな発展余地があるとされている。

また、従来からの課題であった蓄電所の低い利用率に対しても改善策を提示した。新しい調整方式を導入して利用水準を引き上げ、系統需要や安全性、経済性を総合的に考慮した上で調整リソースを最適化する。これにより、石炭火力発電所での大幅な出力調整や、

1日の中での頻繁な起動・停止をできる限り減らし、電力システムの効率的な運用を実現する。

さらに、蓄電の市場メカニズム整備を加速させる方針も打ち出された。第一に、新型エネルギー貯蔵を「再生可能エネルギー＋蓄電」として統合的に電力市場に参加させる。第二に、周波数調整や予備電力といった補助サービス市場への参入を進め、各地域の実情に応じて新たなサービスも研究・拡充していく。第三に、容量電力料金制度や信頼性ある容量補償メカニズムを整備し、蓄電を含む調整リソースに合理的な対価を与える仕組みを構築する。

今回の「方案」は、新型エネルギー貯蔵の大規模導入と市場参入を同時に推進するものであり、技術開発、利用効率、制度整備の三つの側面から体系的に進められる。これにより、中国の電力システムはより安定的かつ持続可能な形へと転換し、再生可能エネルギーの拡大を強力に後押しすることが期待されている。

参考：https://www.ndrc.gov.cn/xxgk/zcfb/tz/202509/t20250912_1400425.html

【ベトナム】【住宅】ホーチミン市、工業団地で最低価格の社会住宅販売を開始

ホーチミン市当局は、ソナデジ・フウフォック住宅地区における大規模な社会住宅（低所得世帯向け住宅。）プロジェクトの第1期販売を開始すると発表した。価格は1平方メートルあたりわずか1,240万VNDからで、深刻化する手頃な価格の住宅不足の中で、同市内で最も低価格な住宅供給の一つとなる。

ホーチミン市建設局の承認を得た販売は、10月15日から22日までの1週間の登録期間を設けて開始される。第1期では計210戸が提供される。価格には5%の付加価値税(VAT)が含まれるが、2%の維持費は含まれない。

ソナデジ・フウフォックプロジェクトは、南部ベトナム最大級かつ戦略的に位置する工業団地の一つであるチャウドック工業団地に隣接している。ソナデジ・チャウドック株式会社が開発・運営する同工業団地は数百ヘクタールに及び、国道51号線、ロンタン・ダウザイ高速道路、主要な深水港であるカイメップ・ティバイ港など、主要経済回廊に直接接続している。同団地には多様な製造業・物流業者が集積し、複数業種にわたる数万人の労働者を雇用している。

新たな住宅プロジェクトは、こうした労働者の差し迫った居住ニーズに対応するために設計された。ユニットの面積は25～68平方メートルで、単身労働者、若い家族、出稼ぎ労働者に合わせて設計されている。

第1期には、3棟の高層アパート、敷地内駐車場、コミュニティエリア、コンビニエンスストアが含まれる。すでに承認されている第2期では、隣接地に1,003戸のアパートが追加される予定。市場価格を大幅に下回る価格設定により、発表後には圧倒的な関心が集まると予想される。

中央政府は2030年までに同地域で20万戸の手頃な価格の住宅供給を目標としているが、2025年半ば時点で完成したのはわずか6,657戸で、目標の3.3%に過ぎない。用地取得の遅れ、開発業者へのインセンティブ不足、行政上の障壁が依然として進捗を妨げているという。多くの計画段階で停滞するプロジェクトとは異なり、ソナデジの取り組みは稀有な官民連携の成功例として注目されている。開発業者が自社の工業基盤を活用し、長期的な労働者向け住宅を支援するモデルである。

工業団地で操業する日系電子機器メーカーの物流責任者は「手頃な住宅不足が従業員の離職率上昇の主因となっている。このモデルが成功すれば、全国の工業団地における人材確保の在り方が変わる可能性がある」と述べた。

当局は、特に低所得労働者や恒久的な住居を持たない人々など、購入資格のある者に対し、申請期間に先立ち必要な書類の準備を始めるよう促している。

参考：HCM City to launch sale of record-low social housing units at Industrial Park. (2025, Sep 25). *Vietnam News*.

<https://vietnamnews.vn/society/1725898/hcm-city-to-launch-sale-of-record-low-social-housing-units-at-industrial-park.html>